

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	愛西市保育所等訪問支援事業		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年11月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等訪問支援事業の様子等を適切に保護者と共有できている。	訪問支援内容をわかりやすく丁寧に伝え、保護者の気持ちに寄り添いながら共有することを心がけています。家庭で取り入れやすいポイントを選び、前向きに支援に生かせるよう意識して取り組んでいます。	具体的に伝えられるよう、写真や具体例を用いるなど情報の伝え方を工夫するほか、保護者が質問しやすい雰囲気づくりを意識していきます。 支援が途切れずつながるよう園・学校との連携を強化します。
2	こまめに子どもの状況を保護者に伝え、子どもの健康や発達の状況、課題について保護者と共通理解ができている。	子どもの様子を丁寧に観察し、保護者が受け取りやすい言葉でわかりやすく伝えることを意識しています。必要なタイミングでこまめに伝え合い、健康や発達の理解が自然と深まるよう配慮しています。	子どもの変化や成長をより具体的に示せるよう記録の取り方を工夫します。保護者が質問や相談しやすい雰囲気づくりにも取り組めます。園や学校、家庭と共通理解を深め、より良い支援につなげていくことを目指します。
3	保育所等訪問支援計画の作成には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が携わり、子どもの最善の利益を考慮した検討を行っている。	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が情報を共有し、同じ理解のもとで検討することを大切にしています。日々の様子や成長の変化を丁寧に話し合い、子どもの最善の利益につながるよう、多角的な視点から意見を出し合う体制づくりに努めています。	職員間の連携をより深めるため、子どもの状態を共有する機会や振り返りの時間をさらに充実させ、支援計画の質の向上につなげていきたいと考えています。また、園や学校、保護者との情報交換も積極的に行い、多様な視点を計画に反映することで、子どもにとって最も良い支援を一緒に考えていける体制を整えていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援の実施の案内不足に加え、活動概要や非常時の連絡体制の情報を保護者へ十分に届けられていないことが課題となっている。	家族支援プログラムや研修会の案内が十分に届かなかった背景には、情報発信の機会が少なかった点がある。また、非常時の連絡体制については、訪問前の丁寧な説明を通して改善を図りたい。	情報発信の充実と説明機会の確保により、案内不足と連絡体制の改善を図る。
2			
3			